学校だより

翔　　空

№２８　平成２４年１０月２３日（火）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

［翔空祭の結果発表］

今回表彰されるものについて、主なものをお知らせします。なお、合唱で最優秀賞を取った３年１組の皆さんには、１１月１４日〔水〕の音楽学習発表会に参加していただきます。おめでとうございます。

翔空祭新聞コンクール

最優秀賞　３年１組
優秀賞　２年２組
優秀賞　２年３組

合唱コンクールの部

最優秀賞　３年１組
優秀賞３年２組、２年３組
優良賞２年１組、２年２組
１年１組、１年２組

指揮者の部
最優秀指揮者賞
３年　森岡　七彩さん

伴奏者の部
最優秀伴奏者賞
２年　佐藤芙美さん

【いろはがるた その④】

今回の**いろはがるた**は、**「塵も積もれば山となる」**です。

「ごみのような小さなものでも積もり積もれば山のごとく大きくなる」という意味です。

（注）節約はやがて大きな富となる。（転じて）

ところが、おもしろいことに、私の解説書では、上方バージョンとしては「地獄の沙汰も金次第」というのが載っており、その意味はご存じのとおり「世の中は、金の力でどうにでもなる。金がものを言う世の中だ。」であるというのも対照的で笑ってしまいます。

〔参考英訳〕*Many a little makes a mickle.*
（読み方：メニィ　アリトル　メイクス　アミクル）

「翔空祭を通して感じたこと」

～子どもたちの絆の強さを改めて感じました～

「私は、『文化祭』と聞くといつも胸が躍ります。私にとっての文化祭は、常に文化の香りが漂い、いつも何かしら感動を伴うものだからです。

もう２５年も昔のことになるでしょうか。私が会津若松市立第一中学校で生徒会顧問をしていたときのことです。若かったこともあり、自分も一緒になって生徒会のメンバーと演劇に出た記憶があります。今思えば、よくもあそこまでのめり込むことができたと感心してしまいます。確かレオタードの衣装を着て女装し、はじけた女子生徒役を私が演じたと思います。恥ずかしさを通り越して、子どもたちと一生懸命に汗を流したことをつい昨日のことのように思い出します。・・・」（文化祭開会式にて）

ところで、自画自賛となるのですが、本校の文化祭、とっても良かったと思います。オープニング、応援団のエール、英語・日本語弁論、各学年の演劇、そ合唱コンクール、吹奏楽部の演奏、有志発表等々とても盛り沢山で見せ場もありましたし、私が言うのもおこがましいのですが、子どもたちの自信に満ちた表情と一体感がとても良かったと思うのです。

実は、文化祭前日、最終確認のための職員打ち合わせがあり、先生方には、「文化祭当日の出来ばえや結果のみではなく、ここに至るまでの経過（プロセス）を何らかの形で認めてやってほしい。どんなことでもいいので具体的に一人一人に対してほめてやってください。」とお願いをしました。本校の子どもたちにとっての翔空祭、それは、一言で言うなら「エネルギーの収束と発散の場」であり、**「友だちとの絆を確かめたり、自分の立ち位置を確認したりする場」**でもあるのです。折角、新人戦以降集中して取り組んできた準備や練習を、賞に入った入らなかっただけで評価したくありません。一人一人が何らかの形でかかわった翔空祭。「青春の一頁」にふさわしい良き思い出とするためにも、周りの大人達こそが大いに感動し、一生懸命に燃えるべきだと思うのです。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

〈翔空祭、大成功！「感動をありがとう！」100%の出来！〉

最後になりましたが、保護者の皆さまも模擬店やバザーへのご協力本当にありがとうございました。今年は「晴れ男」となるべく２週間前から断食に近い努力をして参りました。（とは言っても、夕飯のごはんが２杯を１杯に減らしただけなのですが〔笑！〕）お陰様で最高の天気のもとで翔空祭が実施できました。今後とも喜久田中の諸活動にご協力をお願いします。